

京都市都市計画審議会 第5回持続可能な都市検討部会の開催について

この度、本市が取り組む持続可能な都市の構築の検討に向けて、様々な御意見をいただくことを目的として設置した京都市都市計画審議会「持続可能な都市検討部会」の第5回会議を下記のとおり開催しますので、お知らせします。

記

1 日 時

平成30年3月22日（木） 午後6時30分から

2 開催場所

ひと・まち交流館 京都 地下1階

京都市景観・まちづくりセンター ワークショップルーム1・2

（京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1

電話075-354-8701）

3 議 題

持続可能な都市の構築の方向性等について

4 会議の傍聴

(1) 傍聴定員

10人 ※ 当日は別途記者席を用意します。

(2) 傍聴手続

傍聴の受付は、当日の午後6時から午後6時15分まで会場受付で行い、傍聴希望者が定員を超えた場合は、抽選により傍聴者を決定します。

(3) その他

部会が公開すべきでないとする場合は、当日非公開となる場合があります。

5 会場周辺図



京阪電車「清水五条」下車 徒歩8分

地下鉄烏丸線「五條」下車 徒歩10分

市バス4, 17, 205号系統「河原町正面」下車すぐ

(参 考)

1 概要

京都市では、「京都市都市計画マスタープラン（平成24年2月策定）」に基づく都市づくりを進めており、同プランにおいて、都市計画の基本的な考え方として、「都市の持続」、「都市の独自性」、「都市の経営」といった点を重視し、「安心・安全」を基本として、将来にわたり、本市が都市の活力や市民の生活利便性の維持・向上を図るため、これまでの「保全・再生・創造」の土地利用を基本としながら、鉄道駅等の交通拠点の周辺に都市機能を集積させるとともに、地域コミュニティを基本とした生活圏の維持・構築を図ることで、それぞれの地域が公共交通等によりネットワークされた、暮らしやすく、持続可能な都市の構築を目指すこととしています。

一方、人口減少社会が到来する中、「まち・ひと・しごと・こころ京都創生」総合戦略（平成27年9月策定）において、京都のあらゆる強みを最大限に発揮し、子育て支援・出生率の向上、移住・定住促進等の施策を講じていくこととしていますが、今後も中長期的に人口減少及び高齢化は避けられない状況です。

本市では、平成28年度から市内の各地域における人口動向や土地利用の動向等について、基礎的な調査や各種統計データの分析を進めており、今後、この調査結果を踏まえて、更に課題分析を進め、人口減少や高齢化の進行を見据えた持続可能な都市の構築、暮らしやすく魅力あるまちづくりに向けて、関連分野との連携を図り、「立地適正化計画」制度の活用についても研究を重ねながら、今後必要となる施策の検討を行うこととしています。

2 京都市都市計画審議会 持続可能な都市検討部会委員

氏名	役職名等
板谷直子	立命館大学客員准教授
奥原恒興	京都商工会議所専務理事
川崎雅史	京都大学大学院教授
小原雅人	市民公募委員
佐藤由美	奈良県立大学准教授
島田洋子	京都大学大学院准教授
須藤陽子	立命館大学教授
中嶋節子	京都大学大学院教授
八田真理子	市民公募委員
葉山勉	京都精華大学教授
牧紀男	京都大学防災研究所教授
宮川邦博	公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター専務理事

◎

(敬称略，五十音順，◎部会長)